



# GJS Letter

No.12 / 3.03.2023  
ニューヨーク日本人学校  
校長 岡田雅彦

## 新校舎での初の卒業証書授与式

3月2日、新校舎に移転して初めての初等部・中等部の卒業証書授与式を挙りました。

ご来賓として、在ニューヨーク総領事館広報センター所長森和也様、教育管理委員会委員長池川朋子様、PTO会長天目祐二様をはじめ多数のご来賓にご出席いただきました。また、在校生は初等部4、5年生、中等部7、8年生が参加しました。

今年の会場は、本校の体育館にステージを作り、壁の白い壁とブルーをグリニッチの空の色に見立て、羽ばたくたくさんの鳥を貼り付けて子供たちの将来へ向かって突き進む様子を表現するなど、唯一といってもよい温かな雰囲気の手作りの会場での卒業式になりました。

卒業式は、卒業をお祝いする温かな雰囲気の中、たくさんの拍手に包まれて卒業生が入場してきました。

卒業証書授与の場面では、担任の呼名に対する力強い卒業生一人一人の返事や卒業証書を受け取る姿は大変立派で、未来に向かってしっかりと歩んでいこうとする決意を感じました。

在校生や卒業生による送辞や答辞、門出の言葉には学校での思い出や相手に対する感謝の言葉があふれていました。初等部では4、5年生が卒業生へ願いを込め「変わらないもの」を合唱し、それに応えて6年生から「旅立ちの歌」が返され、卒業する気持ちを表していました。中等部7、8年生は再会の思いを込めて「群青」を歌い、9年生からは「手紙～拝啓十五の君へ～」を思い悩みながらも前に進もうとしている中等部の後輩と自分を力付ける歌で返しました。それぞれの合唱には多くの想いや願いが込められていました。証書授与の厳かな時間とは違って、これまでの学校生活を思い出し、温かであり、一方で別れを感じさせられる瞬間であり、さらには、別れの辛さが涙を誘う大変素晴らしい卒業式になりました。

卒業証書授与式を行うに当たり、会場決定に向けてご理解とご協力いただき、保護者の皆様には心より感謝と御礼を申し上げます。大変思い出に残る卒業式とすることができました。



## 6年生を送る会

2月17日(金)に初等部では、5年生が企画進行をして、6年生を送る会が行われました。体育館の壁面に学年ごとに作成したメッセージを飾り、6年生への感謝の気持ちを届けるために、学年ごとに工夫した出し物やメッセージ、歌のプレゼントなどがありました。各学年の感謝と心のこもった発表の後には、6年生からお礼のメッセージと歌と手作り雑巾のプレゼントがありました。お互いに感謝の気持ちがしっかりと伝わり、心温まる会となりました。



## 桜プロジェクト

8年生が中心となり7年生が協力して、9年生の教室から体育館までの廊下を桜でいっぱいにする「桜プロジェクト」を実施しました。壁には桜満開の木、床には桜の花びらが敷き詰められて、後輩から9年生に対する、卒業のお祝いと感謝の思いがいっぱいのまっている廊下を、9年生は歩いて卒業式の会場へと入って行きました。



## 1・2年生交流会

9年生家庭科の実習でお隣のChildren's Day Schoolに訪問したことがきっかけとなり、2月23日(木)に今度は園児たちが本校を訪ねてくれました。

1年生と2年生がお迎えし、生活科で取り組んだ手作りのおもちゃで交流をしました。1年生、2年生は、園児たちのお兄さん、お姉さんとしてゲームの遊び方を一所懸命説明しながらどうやれば楽しんでもらえるか工夫しながら交流会を楽しんでもらっていました。



## 進路報告会

2月28日(火)に中等部9年生の「進路報告会」がありました。7・8年生に対して、受験校を決定するまでの悩んだことや、受験勉強の仕方についてアドバイスなどが伝えられました。また面接のときの様子など実際に体験したことを熱く語りました。普段仲良くしている先輩からの言葉に、うなずきながら、しっかりとメモを取り、学んでいる様子うかがえました。9年生は後輩らの質問にも丁寧に答え、後輩へのエールを送っていました。